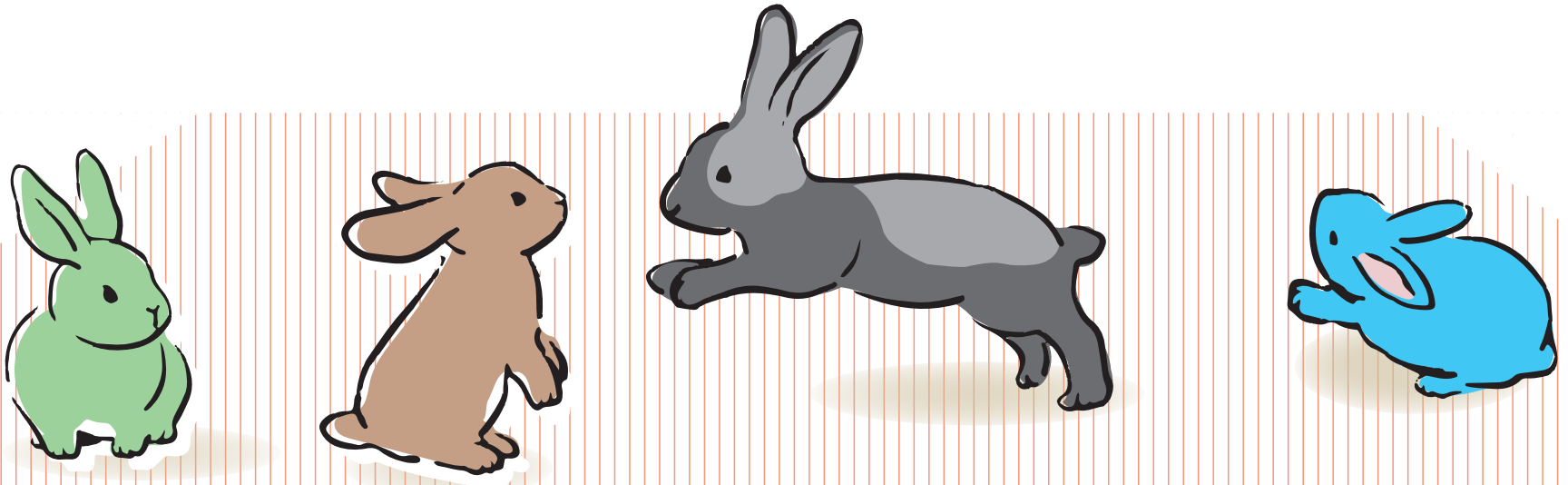
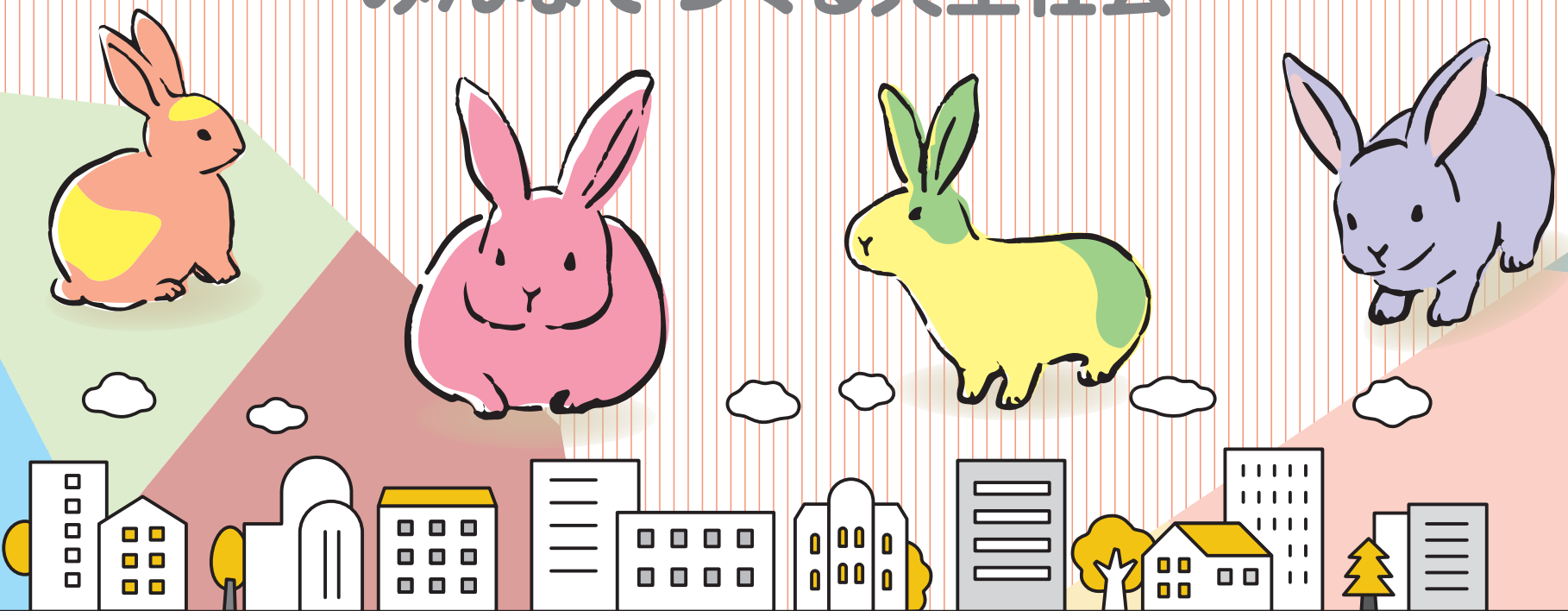




## あなたらしさが彩るまち

— みんなでつくる共生社会 —



### ◆議員定数問題「1増1減」で決着

12月定例会は2022年11月30日から12月23日の日程で開催。冒頭に阪本克己議長・松下壮一副議長が辞任。中島隆一議長・三神尊志副議長が就任しました。阪本前議長は退任挨拶において「任期中の成果として合併以来の懸案であった庁舎移転の決定と議員定数問題に道筋をつけることができたこと」をあげました。

12月2日には、さいたま市議会の定数を60とし、各区選出議員を桜区で1減らし緑区で1増やす条例改正案が上程され、賛成多数で可決成立。これにより今年4月の市議会議員選挙はこのかたちで実施されることになります。

なお三神尊志議員が副議長に就任したことに伴い、会派団長は高柳俊哉議員に交代しました。

### ◆子ども関連の補正予算成立

今定例会では、市長提出議案51件及び議員提出議案4件が成立しました。

今回、デジタル活用推進に向けた官民統一のルール制定のため個人情報保護法が改定され本市条例も全面改定となりました。あわせて法の対象から外れた議会については、さいたま市議会の個人情報の保護に関する条例を独自に制定しました。

また補正予算関連では、原油価格高騰による各種公共施設の光熱費不足分の補填や指定管理業務に伴う債務負担行為の設定。これに加えて、私たちの会派が要望してきた妊婦や子育て家庭への伴走型支援や経済支援、送迎用バスの安全装置導入補助などの補正予算も今定例会中に追加上程され、賛成多数で可決成立しました。

### ◆会派基本政策の検証と改定

民主改革市議団は、前身も含めて2007年以来、会派基本政策を策定しPDCAサイクルを繰り返しながら、政策の実効性を高めています。昨年11月には基本政策『市民と共に明日を創る2019』最終報告会を開催し、学識者・市民の評価をいただきました（詳細は右下、二次元コードの会派HP参照）。皆様の声を生かし政策のブラッシュアップを図ってまいります。今後ともご注目ください。



学識者等の評価委員会座長 関東学院大准教授 牧瀬稔氏(右から5人目)を迎えて開催した最終報告会







高柳 俊哉

基本政策 1 行政の透明化推進と情報発信の充実強化

## 個人情報保護制度の充実に向けて

Q 「改正」個人情報保護法の不足を補う取り組みは。

A 個人情報の扱いについては、法に基づき義務化された「個人情報ファイル簿制度」では対象者が1,000人未満は作成・公表不用とされている。そこで現行の「個人情報取扱事務制度」を継続し、対象者数に関わらず、さいたま市で取り扱う全ての個人情報を管理していく。

基本政策 13 多様な個性・価値観と人権が尊重されるまち

## パートナーシップ制度の「シンカ」について

Q パートナーシップ宣誓制度の自治体間連携は。

A さいたま市のパートナーシップ宣誓制度は、2022年11月1日の制度改正によって新たに自治体間連携が可能となった。現在、日本全国で240自治体がこうした制度を導入している（10月11日時点）。今後、埼玉県内及び政令市や東京都含む首都圏の制度導入自治体に周知をはかり、協定締結について前向きに進めていきたい。



浜口 健司

基本政策 4 すべての子どもと若者に夢とチャンスを

## EQに基づく生きる力の育成について

Q IQ（学力の偏差値）だけではなくEQ（心の偏差値）を伸ばす教育のためにEQ診断を導入してはいかがか。

A 子どもたち一人ひとりが自分の特性を知り、自分のEQを高めることで、学力や自己肯定感を高め、自信をもって何事にもチャレンジできるものと考えている。さいたま市はIQとともにEQも意識した教育活動に取り組み、「真の日本一の教育都市」を目指していく。

基本政策 14 誰もが健康で心豊かに文化・スポーツにふれあえるまち

## 沼影市民プールの代替措置について

Q 沼影市民プールが閉鎖された後の新設プールについての検討状況を伺う。

A レジャープールに関する市民意向を確認するため、夏季の現地調査に加えインターネットを活用したアンケート調査を実施している。また屋内プールの移転については代替措置を教育委員会、スポーツ文化局とともに現在検討している。



武田 和浩

基本政策 5 社会全体で子育てを支えるまち

## 18歳までの医療費支援を

Q 18歳までの医療費支援を求める声を伺っているが、市民に寄り添い市民の声を反映させて丁寧に取り組むべき課題と考えるが見解は。

A 本市として高校生世代の医療費をどうしていくかは重要な課題だと認識している。今後については市民ニーズや社会環境の変化を踏まえて丁寧に検討していきたい。

基本政策 11 災害時に命と暮らしをまもる地区防災力の強化向上

## スクラップヤード条例等のルール設定を

Q スクラップヤードにより騒音や振動・異臭など地域住民の生活に支障をきたしているので条例等のルールが必要と考えるが見解は。

A 屋外に保管するという特性上、保管する再生資源物等によっては騒音・振動、粉じんの飛散等生活に支障をきたす甚大なケースも見られる。市民の生活環境保全に向け、必要となる条例の制定を積極的に検討していく。



高野 秀樹

基本政策 12 暮らしを支え活力を生み出す交通体系の構築と都市基盤整備

## 国道122号線加倉北・南交差点の改良について

Q 国道122号線と旧16号線が交差する岩槻区加倉北交差点では慢性的な渋滞が発生している。拡幅工事の進捗状況と完成の目処を問う。また、加倉南交差点の立体化の必要性は。

A これまでに東武野田線をまたぐ岩槻跨線橋及び東武野田線北側部分の沿道整備などが完成。共用開始は2023年度末を予定している。また、加倉南交差点については、2022年7月に国道16号を管理する大宮国道事務所と協議を行っている。

基本政策 11 災害時に命と暮らしをまもる地区防災力の強化向上

## 慈恩寺地区の水害対策について

Q 岩槻区慈恩寺地区では毎年水害が発生。抜本的な対策として新しい河川を造成する計画があると聞かすが、どのようなものか。

A 準用河川上院川は、岩槻区小溝、慈恩寺地区に位置する、流域面積3.58km、延長1.8kmの河川。時間雨量30mmに対応した河道、調整池などを計画している。

## 区別所属議員紹介

### 西区



出雲 圭子

### 北区



傳田ひろみ



小川 寿士

### 大宮区



政策調査会長  
西山 幸代



佐伯加寿美

### 見沼区



副議長  
三神 尊志



武田 和浩

### 中央区



団長  
高柳 俊哉

### 桜区



理事  
阪本 克己

### 浦和区



顧問  
添野ふみ子

### 南区



幹事長  
浜口 健司



総務会長  
富田かおり

### 緑区



顧問  
神崎 功

### 岩槻区



顧問  
高野 秀樹



松本 翔

会派基本政策「市民と共に明日を創る」はホームページでご覧いただけます。

2月定例会のお知らせ▶2月1日～3月3日までの31日間(予定)。2023年度当初予算議案等の審議や代表質問を行います。